

■第29回ふるさとまちなみデザインセミナー『都市と農のまちづくり』

日時：平成29年11月14日（火） 14：00～15：40

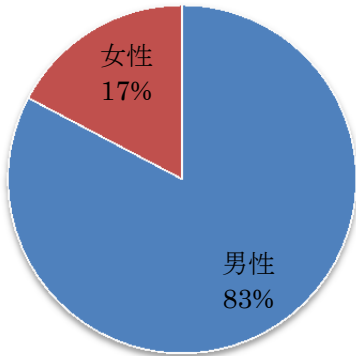
場所：山梨県立図書館 多目的ホール

参加者：143名

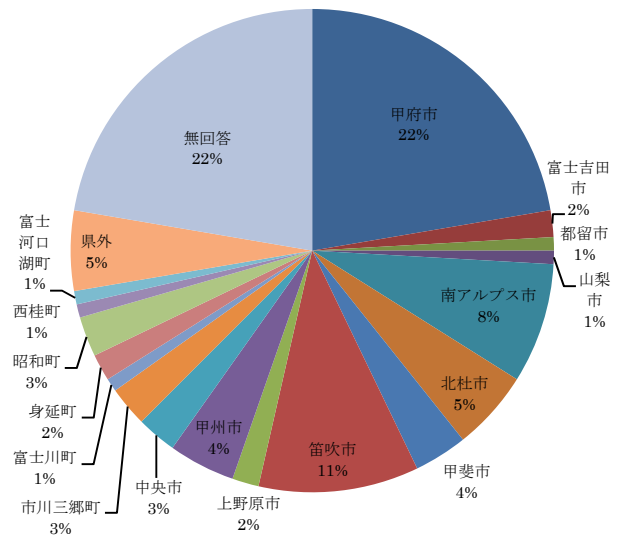
○参加者アンケート結果（抜粋）

アンケート回収数：112（参加者に対する回答率78%）

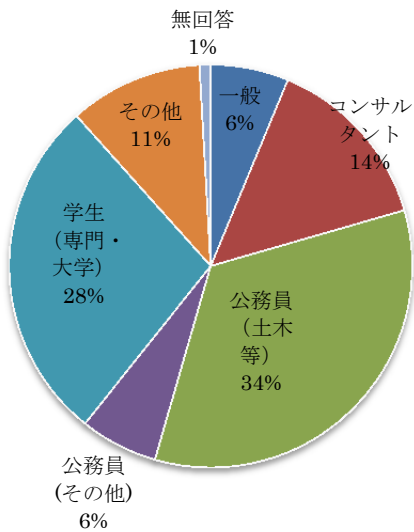
①性別



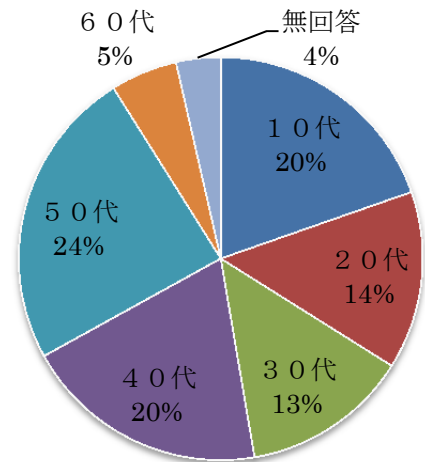
②お住まい



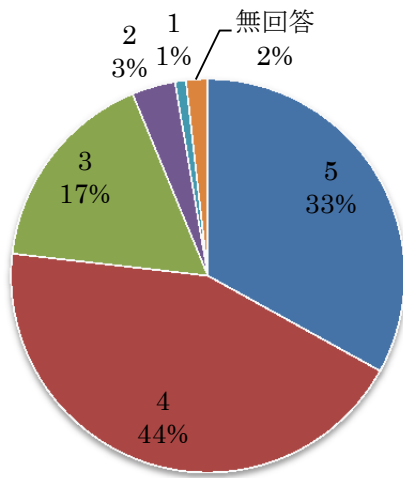
③職業



④年齢



⑤セミナーに参加して良かったと思うか。(良かった 5-4-3-2-1 悪かった)

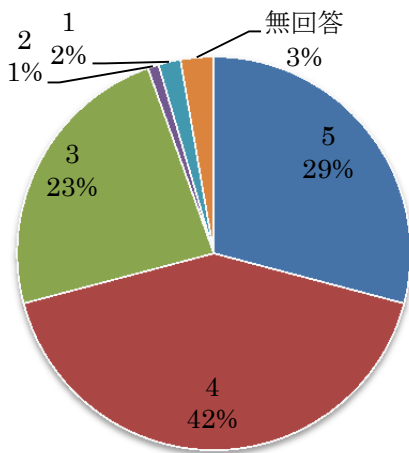


○主な理由

- ・果実の生産量が多い山梨県にとって、大切なテーマであり参加して良かった。
- ・都市に対する農地の機能という観点を得ることができた。
- ・都市や海外の農業の視点がどうなっているのか知れた。
- ・学生なので未来をつくっていかなければならない。セミナーをとおして、様々なことを考えていった。
- ・まちづくりに関わる農の重要性を認識することができた。他都市の取組み事例等をもう少し詳しく聞ければなお良かった。

⑥本セミナーはまちづくりの参考になると思うか。

(参考になる 5-4-3-2-1 ならない)



⑦まちづくり（都市計画）について思うこと

○主な回答

- ・農業の生産基盤を大切にしまちづくり。
- ・人口減少を前提とした手法によるまちづくりが大切。
- ・建築物もインフラも山梨らしさを前面に出して、金太郎アメの他の都市インフラと差別化を図った方がよい。ただし、洗練されたデザインであることが前提。
- ・住民の参加意識を高めていく必要がある。
- ・山梨県に多くある耕作放棄地を利用して豊かになっていけば良いと思う

- ・山梨県は人があつまるところが集中しすぎていると思う。分散させれば観光の効果もあり良いと思う。
- ・虫食い状態での開発が多く見受けられる。資産を考える農地を優良農地のまま使える条例等を。
- ・狭い道にも街灯ができて、夜でも明るく安全なまちになったらいい。
- ・太陽光パネルの規制をすべき。駐車場の規制をすべき。
- ・農地を宅地にして開発することは厳しく規制すべき。農業をやりたい人たちが農業が出来るようにしたい。また、集約した大規模農業だけが農業として保護するのはよくない。多角的に農業を守っていく政策をするべき。
- ・自然条件の中で分散立地している都市・集落構造に対し、国の法制度がうまく適合しない。これを補完する県としての考え方や制度が必要ではないかと感じる。
- ・電柱の地中化を進めて景観は少し改善していると思うが、大きな地上トランスが邪魔に感じる。小型化の改善要望を強く主張してほしい。
- ・県庁所在地甲府市の発展。最後のチャンスに思えるリニア開通を利用して、全国に自慢できる都市にして欲しい。
- ・山梨県などでもイギリスと同じように農地を増やし、若い人でも農地を簡単に農地法で入れるようにしたほうがいいと思う。
- ・山梨にも耕作放棄地があると思うのでそれをもっと活用していったらいいと思う。
- ・リニア駅の創設について。東京オリンピック後の都市計画。
- ・都市開発と農業の共存、何を残し何を变えるべきか。山梨の良さを誇れる、住みやすいまちづくりを望む。

⑧取り上げて欲しいテーマ

○主な意見

- ・iot, AI とまちづくり
- ・リニア開通後のまちづくり
- ・低予算、低コストで魅力あるまちづくり
- ・都市集約を政策的に行っている自治体の事例紹介
- ・地方都市でがんばっているところを紹介してもらいたい。
- ・立地適正化計画事例等
- ・住民と協働して成功した事例
- ・縮退した旧市街地の活用
- ・ワインとまちづくり
- ・遊休農地対策、遊休化した農地への宅地並課税の問題
- ・都市と観光